

これまでに卒業された方々の声

Voice1

根岸 忍 様 代表取締役社長（製造業）

会社の存在意義・企業の目的を知る事により経営の目的を明確化することができました。そして、戦略・戦術の判断基準ができるようになりました。未熟ですが、後継者として自信を持つ事ができました。

Voice3

野村 伯英 様 代表取締役（製造業）

経営者には様々な分野の知識、考え方が求められますが、その基本的な部分を学べたのは良い経験になりました。また、同じ境遇の仲間が出来た事も、今後も含めた大きな財産です。推薦図書から学ぶ事も大きいです。

Voice2

藤木 研二 様 代表取締役（製造業）

たのしく前向きに、主体性をもって経営に取り組むことの重要性を教えてくださいました。環境は違っても、ともに事業承継に直面している仲間と会えて、前向きになりました。

Voice4

篠崎 孝 様 代表取締役（流通業）

持ち合わせていない視点や観点を学び、目的としていた強固な組織づくりのきっかけができました。また、一緒に学んだ皆さんとテーマについてディスカッションをし、答えを導き出すことは、それぞれの考え方や切り口が参考になり、楽しく学べました。

2017年
第7期

後継者塾

塾生募集案内

全 10 回

全10回講義（40時間）＋泊まり込み夏合宿

後継者塾 第7期生 募集要項

内容	全10回講義（40時間）＋夏合宿
開催日時	毎月第2土曜日（例外を除く）
時間	13:00～17:00
場所	東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館 会議室
対象者	・ 経営を引き継ぐ後継者 ・ 経営者候補者 ・ 経営者になって間もない方
定員	最大20名（先着順締め切り）
受講料	全10回講義＋夏合宿 298,000円（消費税別）※交通費各自負担
申込方法	以下のお問い合わせ先にお電話を頂くか、ホームページから直接お申込みください。



会場：機械振興会館
（東京タワーの正面です！）

- 神谷町駅から徒歩8分
- 赤羽橋駅から徒歩11分
- 御成門駅から徒歩11分

夏合宿について

都会の喧騒から離れた環境で気分を一新し、集中力を高めて2日間たっぷり語り合います。
※夏合宿は現地集合につき、交通費は各自でご負担願います。

オプションについて

企業見学、工場見学などを予定しています。

<課題図書>

講義では、プロのコンサルタントである当塾の講師陣が厳選した推薦図書10冊をご紹介します。

随時、入塾を受け付けています

途中参加でもWebによる補講をご用意していますので安心です。
また、欠席された回は、来年度の後継者塾で振替受講も可能です。

YouTube 後継者塾 紹介動画あります
www.jigyousyoukei.co.jp/seminar/koukeisyajyuku/

コンサルタントの実務家集団だからできる

後継者にはマインドが求められる
与えられた宿命に挑戦する勇氣
伝統と先代の教えを守る決意
自己流を編み出す創意工夫

これらを総合的に導き育てるのが
「後継者塾」です

未来は後継者が創る

今こそ経営者としての素養を身につけよう！

——— 自社を知り、問題解決方法を学ぶ ———

優しくわかりやすく導きます

【塾の目的】

1. 経営者としての品格を身につける
2. 一年の時間をかけて経営者としての素養を刷り込む
3. 生涯語り合える友を得る

【4つのメソッドとは】

1. グループディスカッション
2. ケーススタディ分析
3. 推薦図書を活用
4. ホームワーク

経営全体を体系的に学ぶチャンス！

【自ら考え行動する経営者を育成】

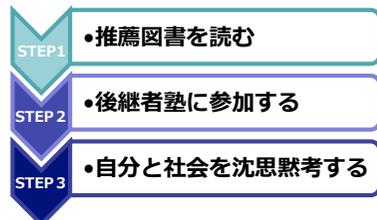
後継者塾では理論と実践を同時に鍛える事で、概念論、精神論にとどまらず、実行力や実践力を身につけることが可能です。自ら考え行動する経営者や、大きな視点でとらえ緻密な計算で実行する経営者を育成します。

【経営の知識やノウハウを学ぶ】

経営の舵取りの際に必要な要素、例えば「数字の見方」であれば、自社が進むべき道を探っていく時にはどうしても避けて通れません。後継者塾では、既存の経営研修のような学術的な部分を一切排除して、実務に必要な知識やノウハウを学びます。

<塾頭あいさつ> 後継者塾 塾頭 東條 裕一

新しい時代に適合するには、絶えず改革と創造が必要になります。ベストな答えなど誰にもわからないのが、現実の経営というもの。考えられる選択肢を出し、そこからよりベターなものを選んで意思を決定していくことが大切です。経営者に求められるのは、ひたすら「実行力」です。そのための意識や思考を後継者塾で学んでいきます。



毎回の行動を習慣化する事で、経営者らしい行動様式が
つられていく！



講師のプロフィール

※講師全員が事業承継に関する30時間の講座を受け、一定の知識と経験を積んだ『事業承継士』です。

大学や行政機関などで講義を行う、一流のプロフェッショナル

【塾頭】



東條 裕一
中小企業診断士
(中小企業庁長官賞受賞)

【副塾頭】



石井 照之
中小企業診断士



内藤 博
中小企業診断士
(弊社 代表取締役)



金子 一徳
1級FP技能士
(弊社 取締役COO)



三井 聡
公認会計士・税理士



渡邊 孝
日本生産本部認定
経営コンサルタント



高橋 聡
中小企業診断士
(元後継者)

「売れる仕組みづくり」、「売れる営業体制づくり」のためのコンサルティングが得意。16年間、損害保険会社で主に営業職と経歴。この経験と知識やノウハウを活用して、日夜活動している。

動めていた会社が倒産したことを機に中小企業診断士になって17年。将来のための「経営革新」を現場で一緒に考えることがモットー。現場にあるノウハウを利益に換える仕組みづくりに全力を尽くす。

自身がベンチャー企業の取締役として、成長発展から縮小リストラまで経験した強みを生かし、単なる相続の事業承継にとどまらず、時には家族会議への参加、親子間の仲介なども行う。

助成金/融資/投資、株式公開 (IPO) による資金調達はもちろん、キャッシュフロー経営、売上利益計画策定、経営戦略構築、企業再生、リスクまで幅広く対応できるオールラウンダーの経営コンサルタント。

大企業の監査、中小企業の会計・税務顧問、公益法人の運営顧問、個人の相続対策・申告、その他会計・税務以外の相談まで、幅広く対応することを強みとしている。

ものづくり企業の現状を管理会計、IE手法などを使って見える化し、経営課題の設定、品質・生産管理、6Sなど経営戦略策定から製造現場のオペレーションまで、企業を「一気通貫」で支援する。

自らの町工場2代目の経験を活かし、中小企業経営のノウハウを押さえた経営指導を強みにしている。「社長を経営者にする」「専門知識を使えること」をモットーに、多くの中小企業再生に関わっている。

後継者塾ベーシックコース - ワーク形式でケーススタディを使って、考える力を養います -

毎月第2土曜日 全回13:00~17:00 (4時間) ※最終回の3月のみ最終土曜日あり。夏合宿は、日曜日・月曜日の1泊2日。

開催日	テーマ	目的
第1回 6/10 (土)	コミュニケーションを考える	<自分のこと、自分の会社のことを伝える大切さを知ります> 自社紹介を3分でまとめて、発表する演習を行います。自社紹介が上手な経営者は、業績貢献度が高いものです。従業員や取引先との報・連・相や、商品の宣伝、情報発信のあり方を学び、表現の技術を磨きます。
第2回 7/8 (土)	経営理念を考える	<経営理念の重要性を知ります> 「なぜアルバイトが顧客のために親身になって対応するような企業が存在するのか」、「生き生きと働く秘訣は何か」をグループで話し合います。経営者が大切にしていた事業を後継者がしっかりと受け止めることの大切さを学びます。ポイントは、共通目的としての「経営理念の重要性」です。
夏合宿 7/30~31 (日・月)	PRや営業を考える ビジネスゲーム 過去と将来を考える	<じっくり学び、語り合える夏合宿で、自分を見つめ直すきっかけを作ります> PR戦略、特に中小企業にとって有効なパブリシティの戦略、営業戦略を学びます。また、ビジネスゲームを使って経営をより理解します。さらに、100年カレンダーを使って自分自身を見つめ直し、社長になるうえで心構えを学びます。
第3回 9/9 (土)	経営戦略を考える	<なぜこの企業はこの戦略を採用したのかを考えます> 経営環境を定性的、定量的に分析し「SWOTに落とし込み」、「企業に向かうべき方向性」をグループワークで話し合います。部分最適に陥ることなく、個々の情報を俯瞰しながら、問題の本質をつかむことを学びます。ポイントは、大局観をもつことです。
第4回 10/14 (土)	ビジネスモデルを考える	<企業はどこに強みを見出し、どこでお金を儲けているのかを考えます> 社会における自社の位置づけと社内のプロセスから「儲けの源泉」を明らかにし、ビジネスモデルの本質をグループで話し合います。プレイヤーとの関連図と内部リソースチェーン、なぜ仕事がかかるのか(くないのか)、これから強化していく点はどこかを明らかにします。
第5回 11/11 (土)	戦略と組織を考える	<「戦略を実現する」ために有効な「組織の作り方」について考えます> 自立的に働く社員をどう生み出すのか、その手法をグループで話し合います。組織を活性化させるための3要素は、「共通目的・貢献意欲・コミュニケーション」です。ポイントは、上から下へ、下から上へ、そして水平方向へと流れるコミュニケーションの重要性です。
第6回 12/9 (土)	人を使うこと、 労務管理を考える	<社員のやる気を高める労働環境とは何かを考えます> きちんと従業員の権利を認めつつ、モチベーションの上がる労務管理を、どうすれば実現できるかを考えます。就業規則や退職金制度はあるのか、先代までのカリスマ性だけで従業員をコントロールすることはやはり不可能です。残業代の削減、リストラの手法といったテクニカル面も学びます。
第7回 1/13 (土)	ITシステムと業務フロー を考える	<企業の活動を効果的、効率的にする業務プロセスの見える化、IT化について考えます> モノの流れ、お金の流れ、情報の流れを明確にして、ITを活用しながら、問題点を改善する手法を学びます。受注から商品・サービス提供を図式化し、具体的にどのような「業務フロー」に落とし込むのか。効率的な業務運営には、いまやIT化が欠かせません。ポイントは、仕事の起点を明らかにすることです。
第8回 2/10 (土)	税務会計と管理会計の 違いを考える	<数値に基づくPDCAの大切さを知ります> 実践的でどんな会社でも取り始める手法を学びます。どの部門(商品/取引先)が儲かっている、どの部門が赤字なのかを知ることは、会社を運営するうえでとても大切なことです。ただし、細かくやり過ぎるとうまくいかないのも事実。管理会計と税務会計との違いを学ぶことで、決算書への理解を深めます。
第9回 3/10 (土)	自社の経営指標を考える	<経営者が理解すべき「管理指標」を考えます> ビジネスモデルとの整合性。企業にふさわしい管理指標は何かを明らかにする手法を学びます。業種・業態によって、管理すべき指標は変わってきます。粗利率、商品回転率などのオーソドックスなものから、広告費対来店客数比率、営業マン1人当たりのアポイント獲得件数など、独自の管理指標を掲げる企業もあります。
第10回 3/31 (土)	取締役の権利・義務・ 責任と法務・リスク管理 を考える	<経営者の法的な権利、義務・責任を知ります> 経営者として知っておかなければならない「会社法」、株主総会および取締役の権利や義務、会社を安全にかつ攻めの運営をするための「リスクマネジメント」を考えます。中小企業が必ず押さえておくべき知法と、あえて手を付けなくてもよいリスクなどを、優先順位を付けてながら学びます。